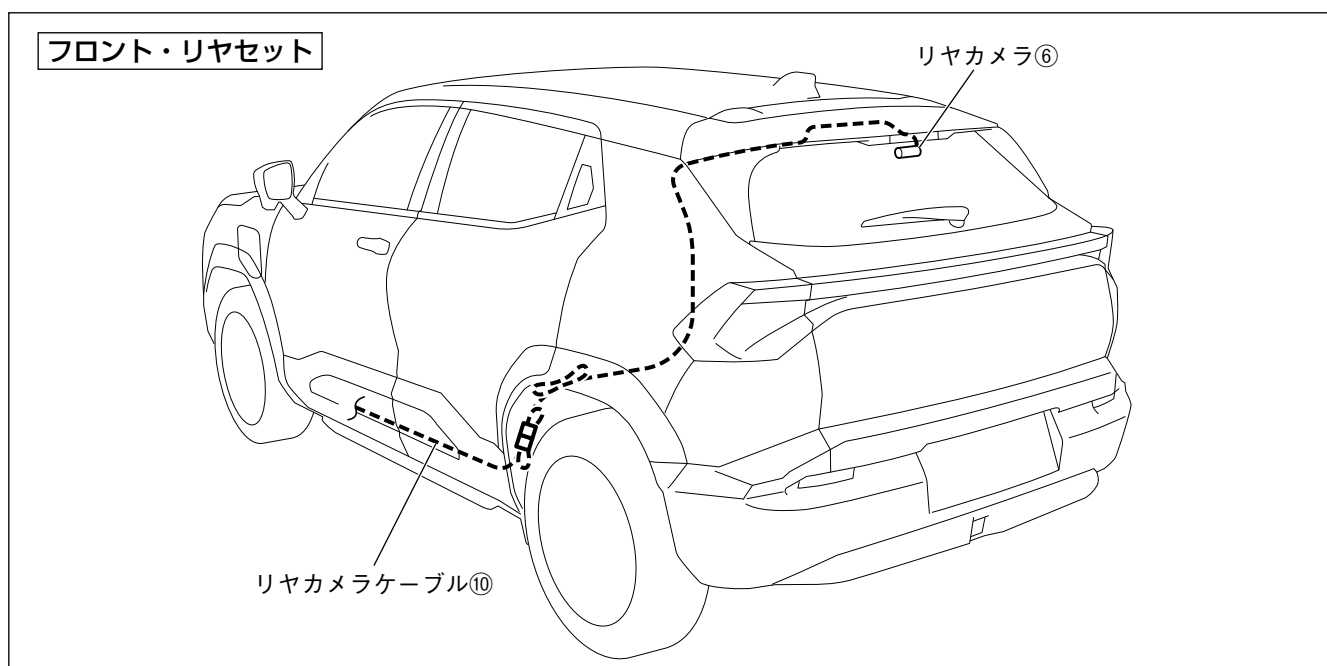
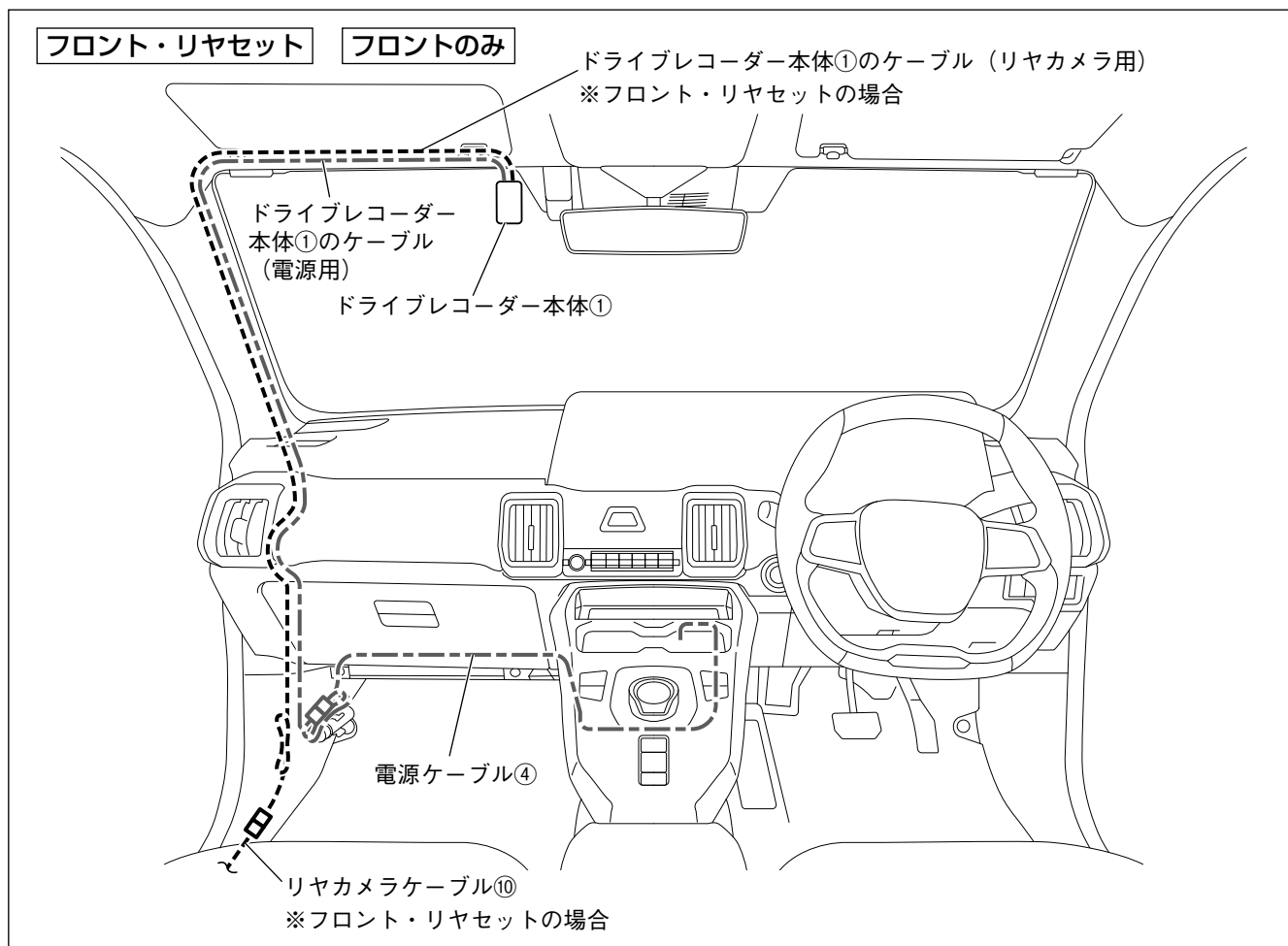


■ eビターラ

👉 アドバイス

本説明書は「フロント・リヤセット」、「フロントのみ」の2つの製品の取付方法について記載しています。タイトルや本文に記載しているコメントを参考にして、それぞれの製品の取り付けを行ってください。

1. 取付概要図



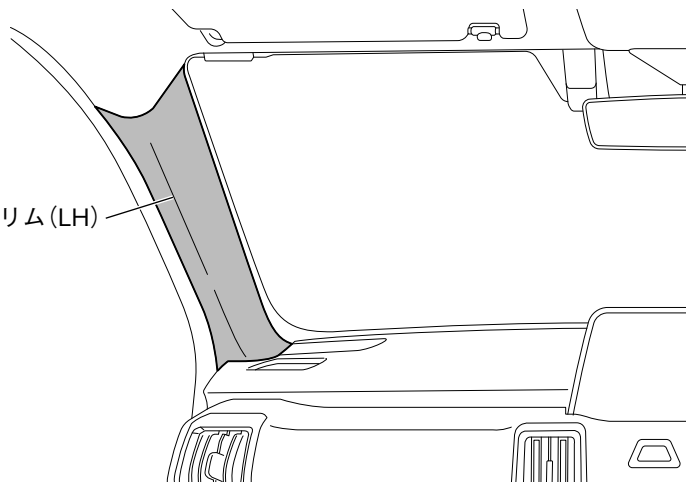
2. 車両部品の取り外し

図中の番号順に車両部品を取り外します。

注 記

- ・ 内装部品を傷付けないよう、養生テープなどで保護をしてから部品を取り外してください。
- ・ 車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)

1. フロントピラートリム(LH)

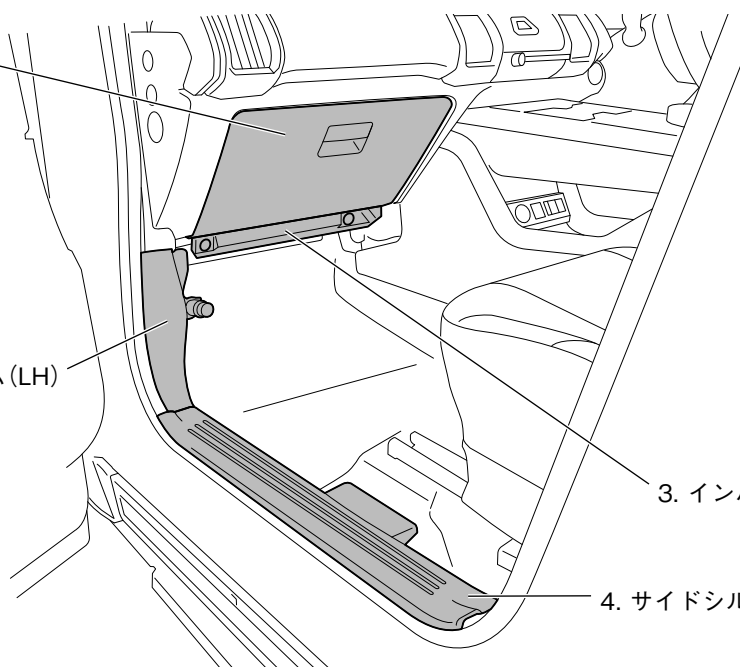


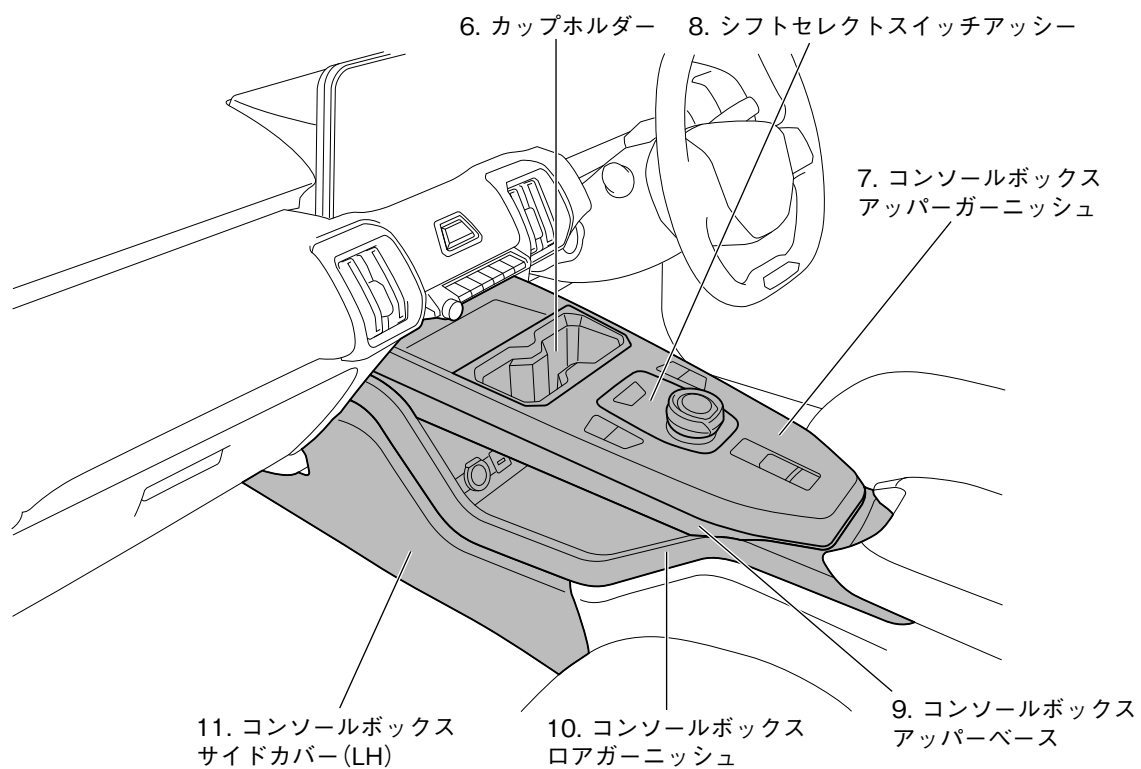
2. グローブボックス

5. ダッシュサイドトリム(LH)

3. インパネアンダーカバー

4. サイドシルフロントスカッフ(LH)





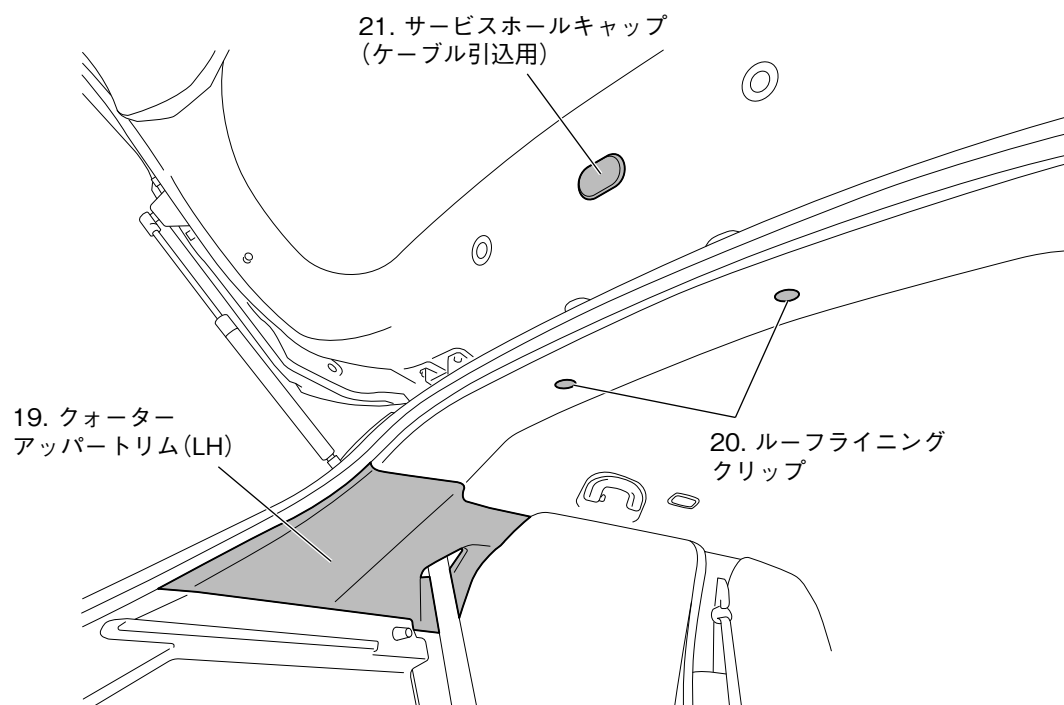
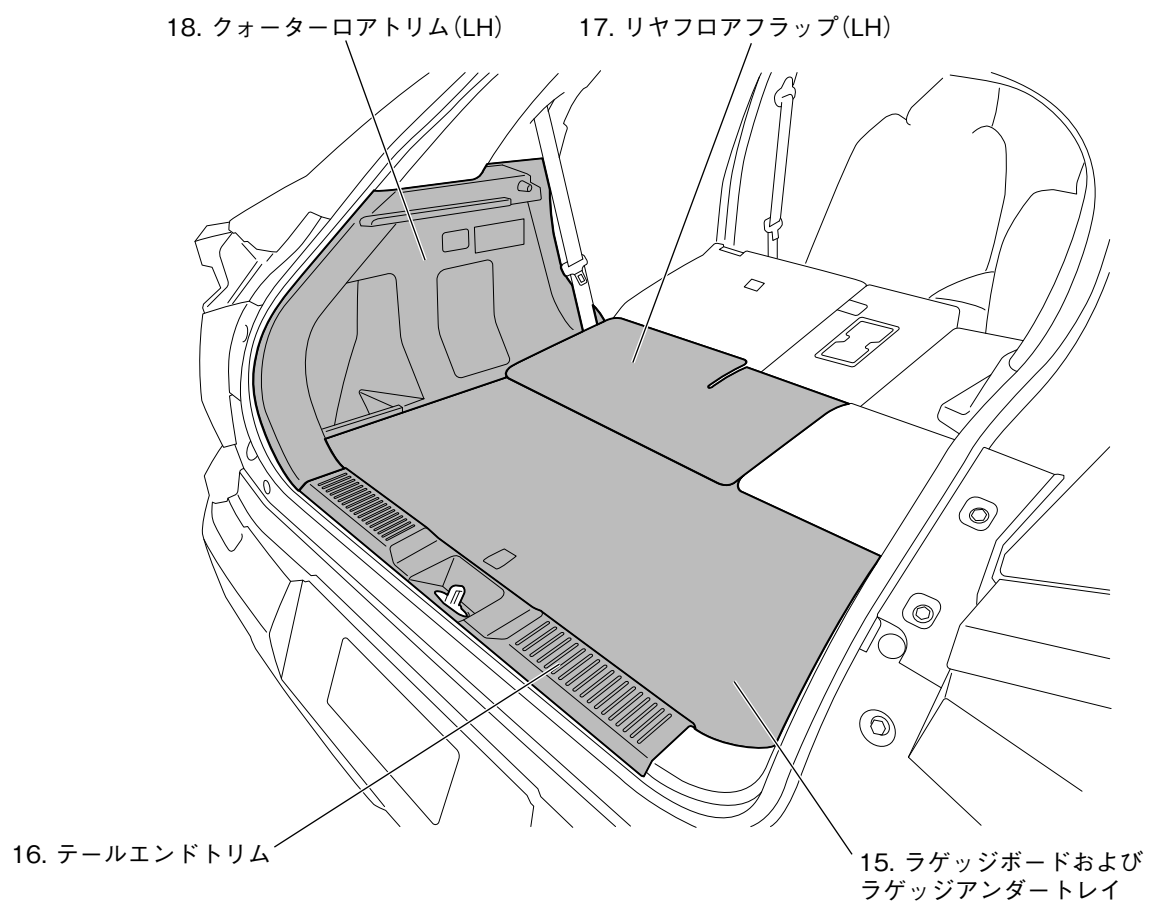
 アドバイス

「フロント・リヤセット」装着時は、以下の車両部品も取り外してください。

13. センターピラー
ロアトリム (LH)

12. サイドシルリヤスカップ (LH)

14. トノカバー



3. 取付前の準備

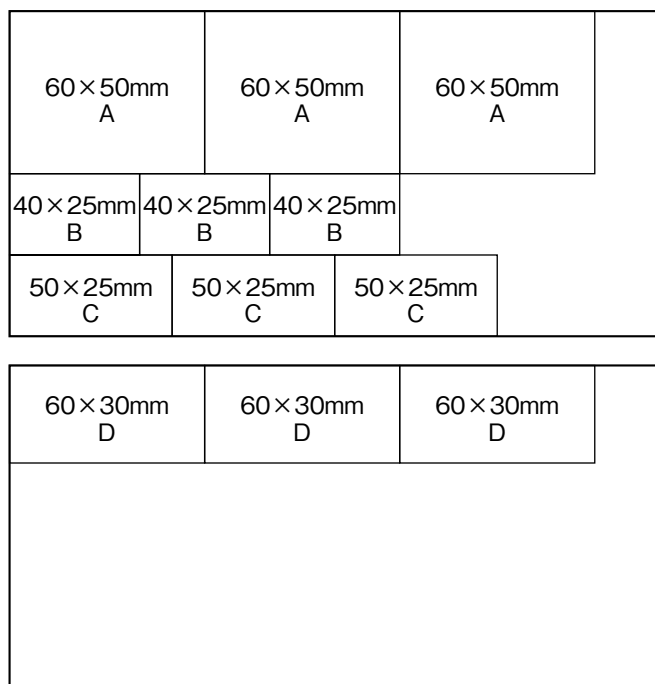
a. クッションテープおよび保護シートの準備

フロント・リヤセット

フロントのみ

●フロント・リヤセットの場合

クッションテープ(200×100mm)⑫



1. クッションテープ⑫を左図のようにカットします。

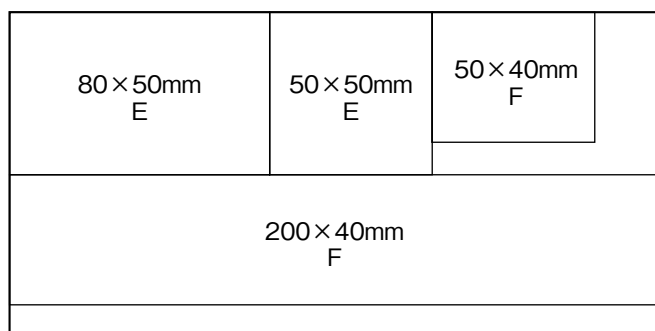
A：コネクタ接続部巻き付け用

B：ドライブレコーダー本体①のケーブル巻き付け用

C：ケーブル固定用

D：中継コネクタ⑤巻き付け用

保護シート(200×100mm)⑬



2. 保護シート⑬を左図のようにカットします。

E：エッジ保護用

F：ドライブレコーダー本体①のケーブル巻き付け用

●フロントのみの場合

クッションテープ(200×100mm)⑫

60×50mm A	50×25mm C	50×25mm C	40×25mm B
	50×25mm C	40×25mm B	40×25mm B
60×30mm D	60×30mm D	60×30mm D	

1. クッションテープ⑫を左図のようにカットします。

A：コネクター接続部巻き付け用

B：ドライブレコーダー本体①のケーブル巻き付け用

C：ケーブル固定用

D：中継コネクター⑤巻き付け用

保護シート(200×100mm)⑬

80×50mm E	50×50mm E	50×40mm F	
200×40mm F			

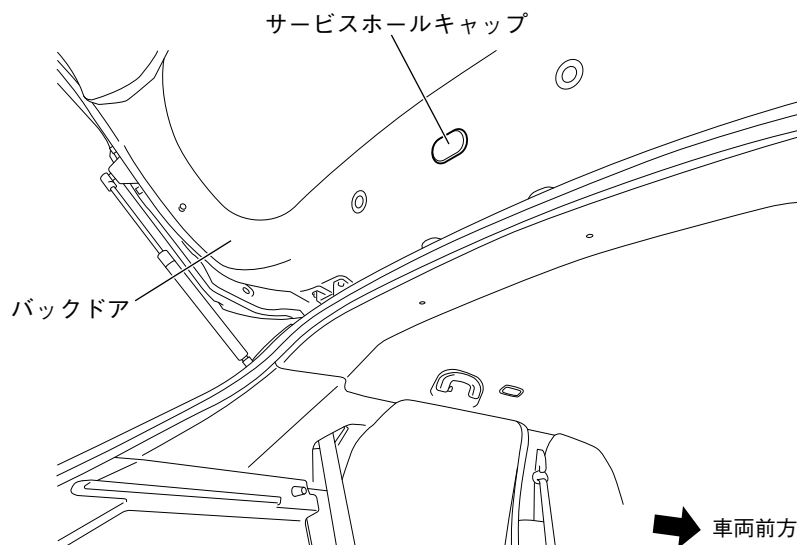
2. 保護シート⑬を左図のようにカットします。

E：エッジ保護用

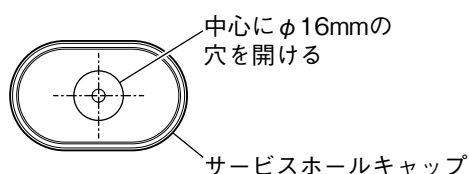
F：ドライブレコーダー本体①のケーブル巻き付け用

b. サービスホールキャップの穴開け加工 フロント・リヤセット

<バックドア上部>



<サービスホールキャップ穴開け>



1. バックドアから取り外した車両サービスホールキャップの中央に穴（φ16mm）を開けます。

警告

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

注意

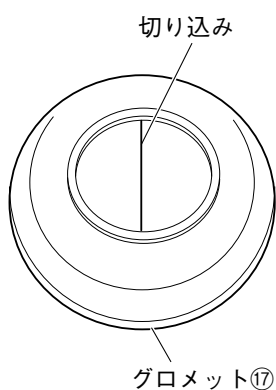
電動ドリル使用時は、巻き込み防止のため手袋を着用しないでください。

注記

- ・ ホールソーの刃先端部から 10mm 以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。
- ・ ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

2. 穴開け加工部をヤスリでバリ取り処理します。

c. グロメットの加工 フロント・リヤセット

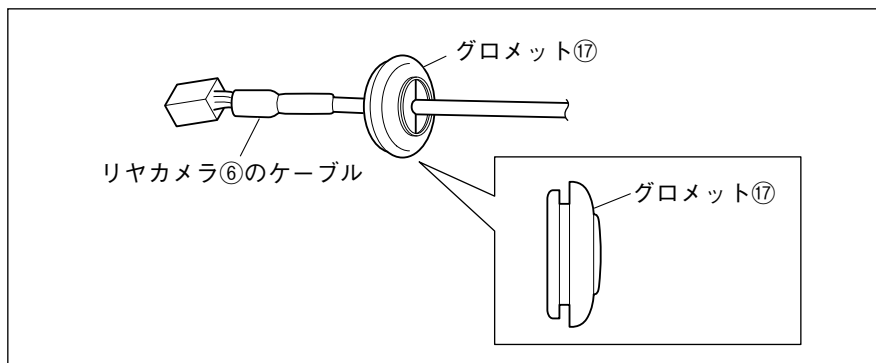


1. グロメット⑰に切り込み加工をします。

注意

切り込み加工時は、ケブラー手袋を着用してください。

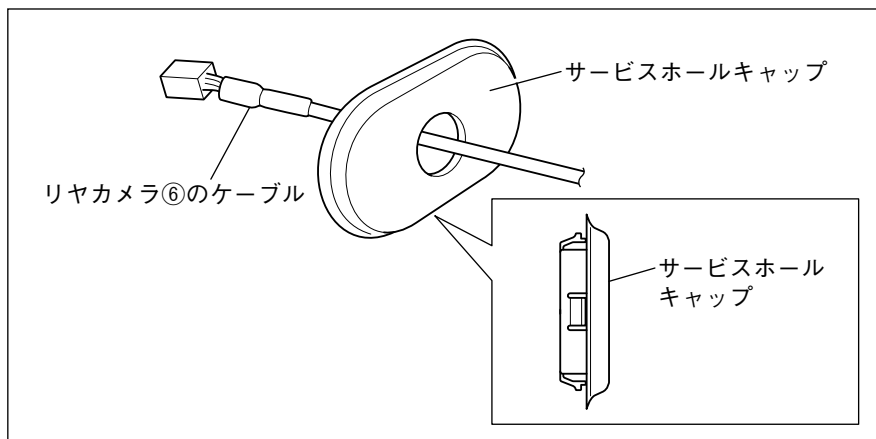
d. リヤカメラのケーブルの準備 フロント・リヤセット



1. グロメット⑰にリヤカメラ⑥のケーブルを通します。

注記

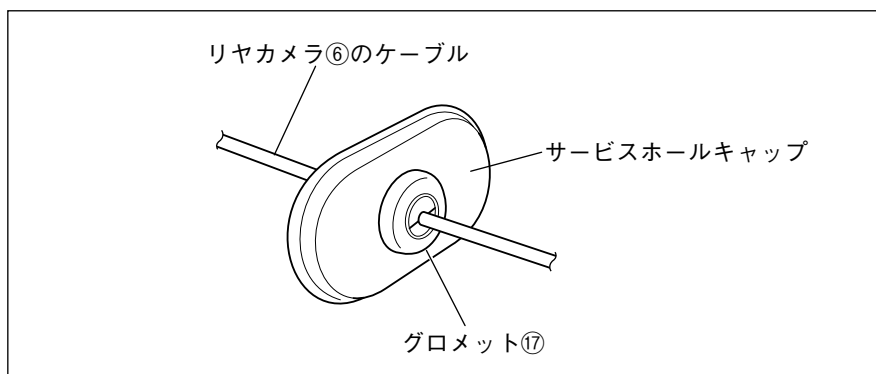
- ・グロメット⑰は、図の向きで取り付けてください。
- ・リヤカメラ⑥のケーブルをグロメット⑰内に通す際は、破損防止のため無理に引っ張ったりしないでください。



2. リヤカメラ⑥のケーブルをサービスホールキャップの加工穴に通します。

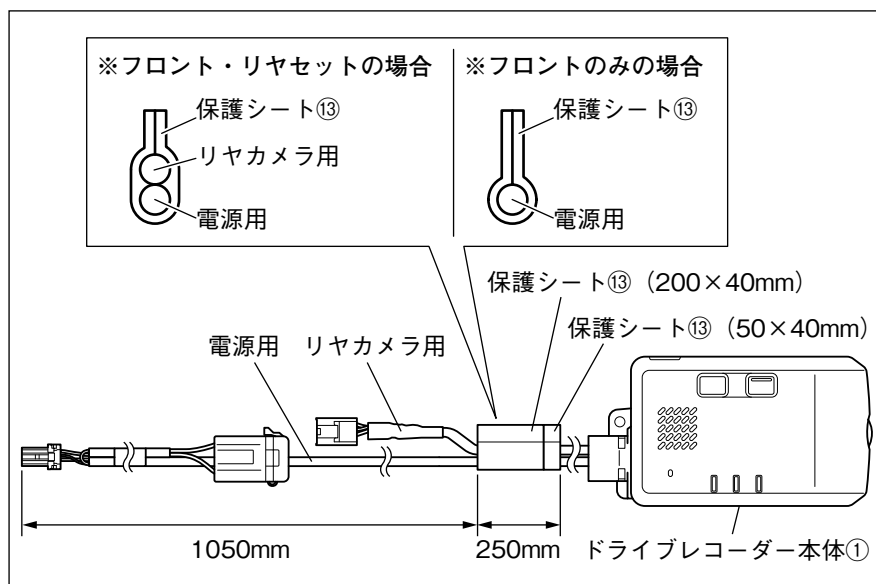
注記

- サービスホールキャップは図の向きで取り付けてください。



3. グロメット⑰をサービスホールキャップの加工穴に取り付けます。

e. ドライブレコーダー本体のケーブルの準備 フロント・リヤセット

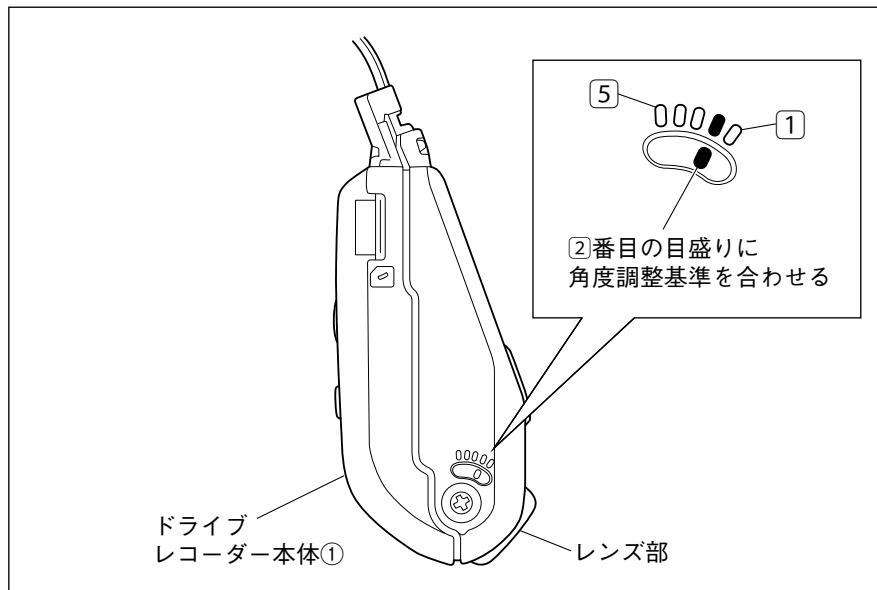


1. ドライブレコーダー本体①のケーブルの図示位置に保護シート⑬を貼り付けます。

4. 取付要領

a. カメラ角度調整 フロント・リヤセット フロントのみ

●ドライブレコーダー本体



1. ドライブレコーダー本体①のレンズ部の角度を左図位置に固定します。

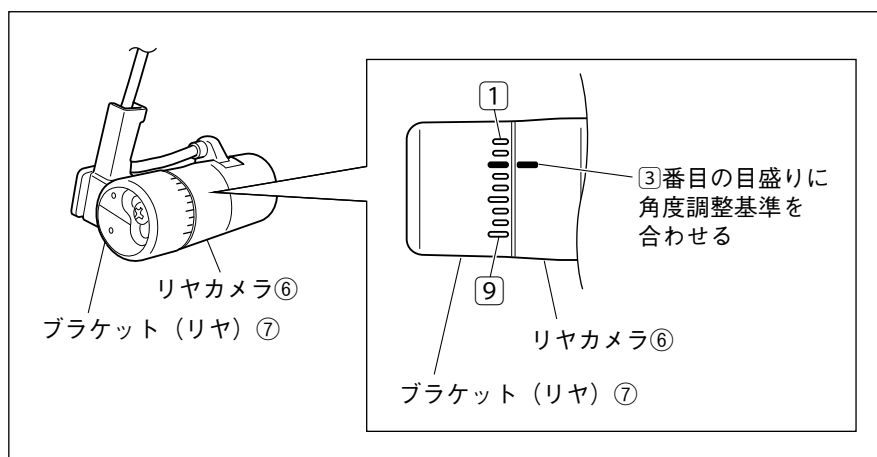
注 記

- ・カメラレンズ部の汚れや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- ・しっかりと固定され、がたつき等が無いことを確認してください。

👉 アドバイス

ドライブレコーダー本体①レンズ部の角度調整方法の詳細は、共通編の「<ドライブレコーダー本体の取り付け>」を参照してください。

●リヤカメラ



注 記

以下の作業は「フロント・リヤセット」装着時のみ行ってください。

1. ブラケット (リヤ) ⑦をリヤカメラ⑥に組み付け、左図位置に固定します。

注 記

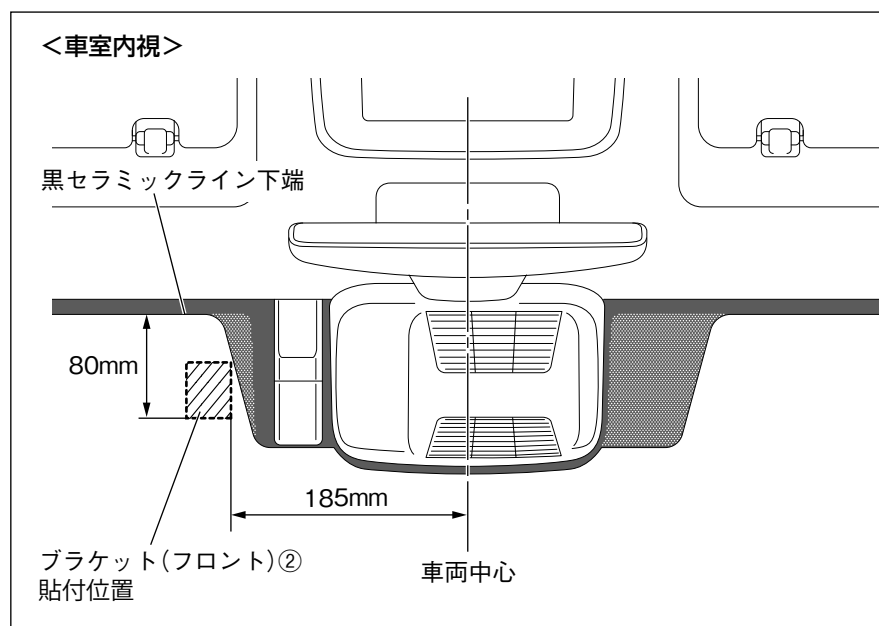
- ・カメラレンズ部の汚れや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- ・しっかりと固定され、がたつき等が無いことを確認してください。
- ・取り付け後にリヤカメラ全体の位置がずれたり、傾いたりするおそれがあります。配線作業をする前には必ず共通編 21 ページに記載されているケーブル引き回しの作業内容を参照してください。

👉 アドバイス

ブラケット (リヤ) ⑦の組み付けの詳細は、共通編の「<リヤカメラの組み立て>」を参照してください。

b. カメラ取付位置 フロント・リヤセット フロントのみ

●ドライブレコーダー本体



1. ブラケット（フロント）②をフロントガラス内側の左図位置に取り付けます。

注 記

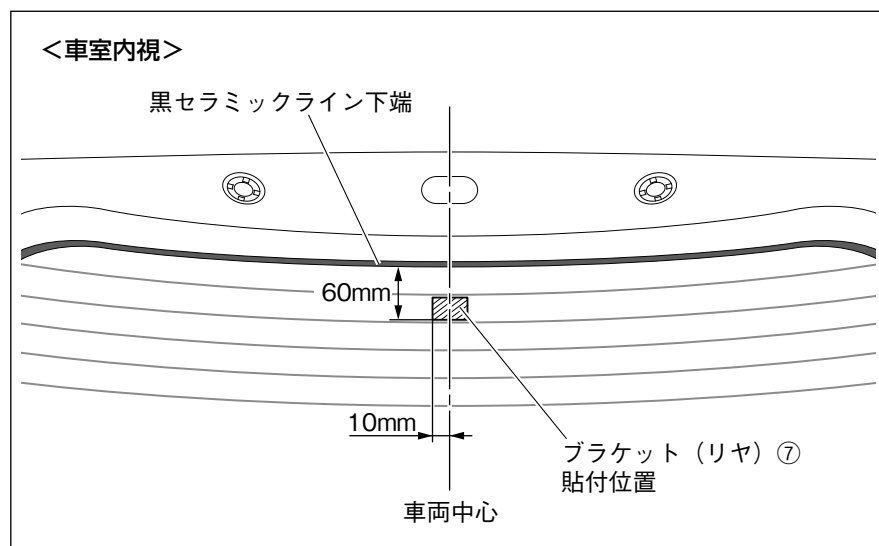
- ・取付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- ・接着面に触れたり、ブラケットを取り付け直したりしないでください。
- ・気温が低い時（15℃以下）は、取付面をドライヤーなどで温めてから取付作業を行ってください。

👉 アドバイス

ドライブレコーダー本体①、ブラケット（フロント）②の取り付けの詳細は、共通編の「<ドライブレコーダー本体の取り付け>」を参照してください。

2. ドライブレコーダー本体①をブラケット（フロント）②に取り付け、ネジ(M3×5.5mm)③で固定します。

●リヤカメラ



注 記

以下の作業は「フロント・リヤセット」装着時のみ行ってください。

1. ブラケット（リヤ）⑦をバックドアガラス内側の左図位置に取り付けます。

注 記

- ・取付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- ・接着面に触れたり、ブラケットを取り付け直したりしないでください。
- ・気温が低い時（15℃以下）は、取付面をドライヤーなどで温めてから取付作業を行ってください。

👉 アドバイス

リヤカメラ⑥、ブラケット（リヤ）⑦の取り付けの詳細は、共通編の「<リヤカメラの取り付け>」を参照してください。

c. ドライブレコーダー本体のケーブル（電源用、リヤカメラ用）配線

フロント・リヤセット

フロントのみ

<ルーフライニング部の配線>

※フロント・リヤセットの場合

クッションテープ⑫



ドライブレコーダー
本体①のケーブル

※フロントのみの場合

クッションテープ⑫

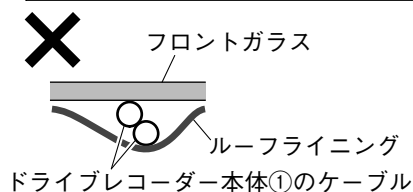
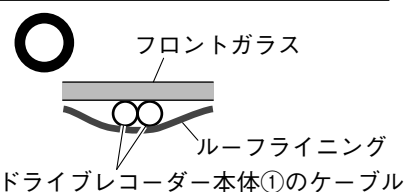
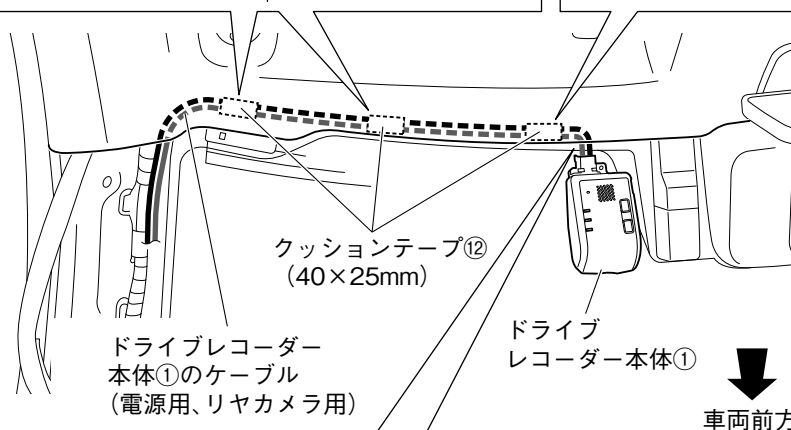


ドライブレコーダー
本体①のケーブル

クッションテープ⑫



ドライブレコーダー
本体①のケーブル



注記

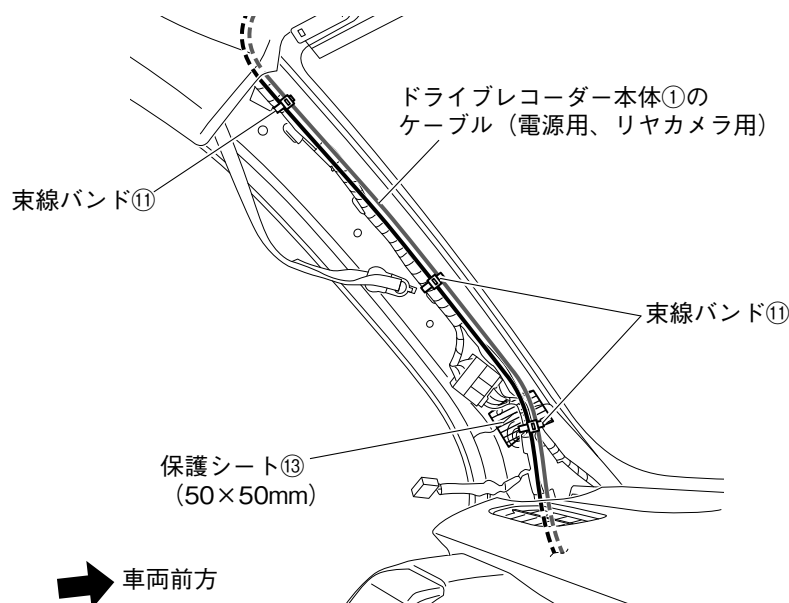
「フロントのみ」の場合は、ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）の配線作業はありません。

1. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）にクッションテープ⑫を巻き付けます。
2. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）をルーフライニング内に入れ込みながら、フロントピラー部へ配線します。

注記

ルーフライニング引込部のドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）は、フロントガラスと並行になるようにしてください。

<左フロントピラー部の配線>



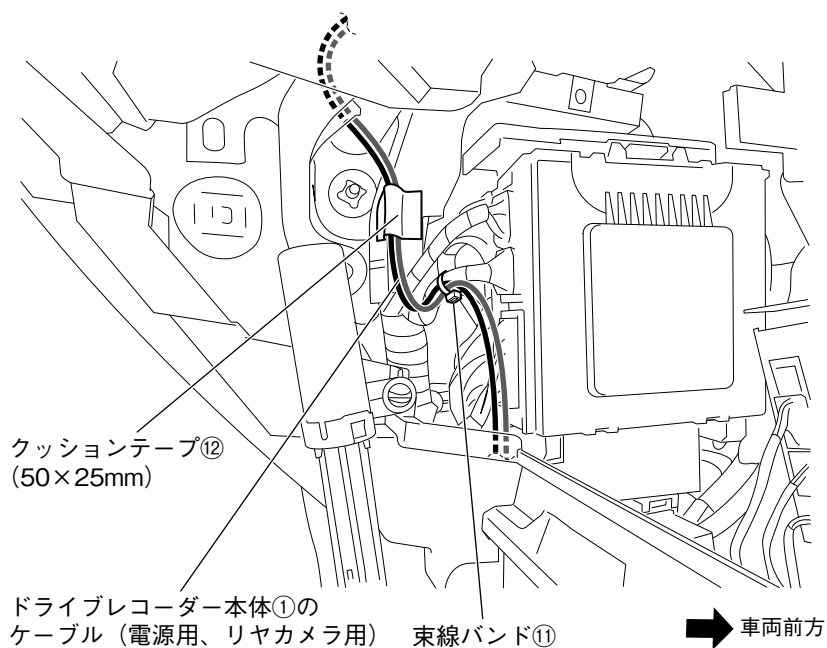
3. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）をフロントピラーに束線バンド⑪で固定しながら配線します。

注記

- ・ 図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。
- ・ ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）は、カーテンエアバッグの部品と接触しないように配策・固定してください。

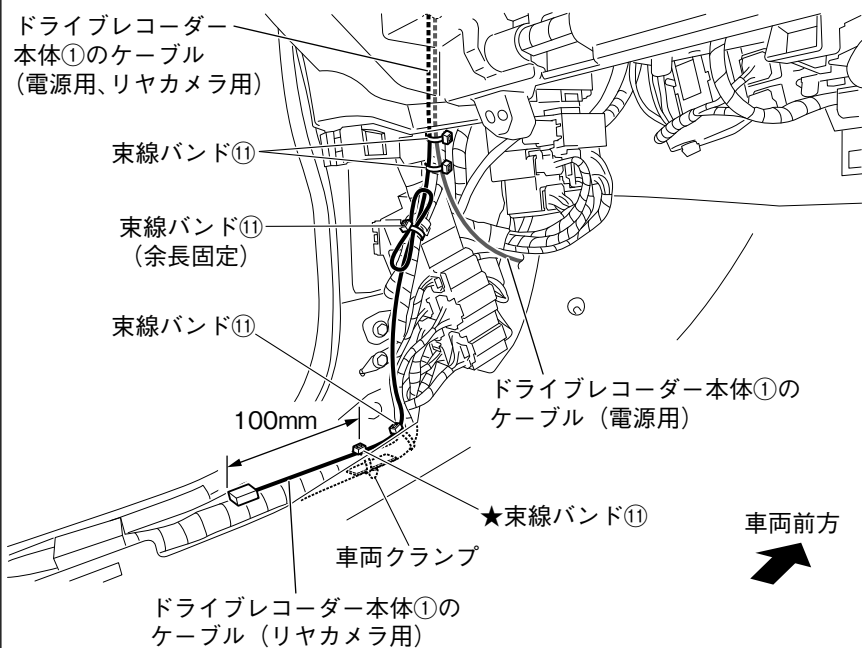
4. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）をフロントピラーとダッシュボードのすき間からグローブボックス取付部に配線します。

<グローブボックス取付部左側>



5. ドライブレコーダー本体①のケーブル (電源用、リヤカメラ用) をクッションテープ⑫および束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

＜助手席足元左側＞



6. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。
7. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）のコンネクター部を図のように束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注 記

- ・ ★部の束線バンド⑪は、ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）のコンネクター先端から車両クランプまでを図示寸法に合わせて固定してください。
- ・ ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）は一緒に固定しないでください。

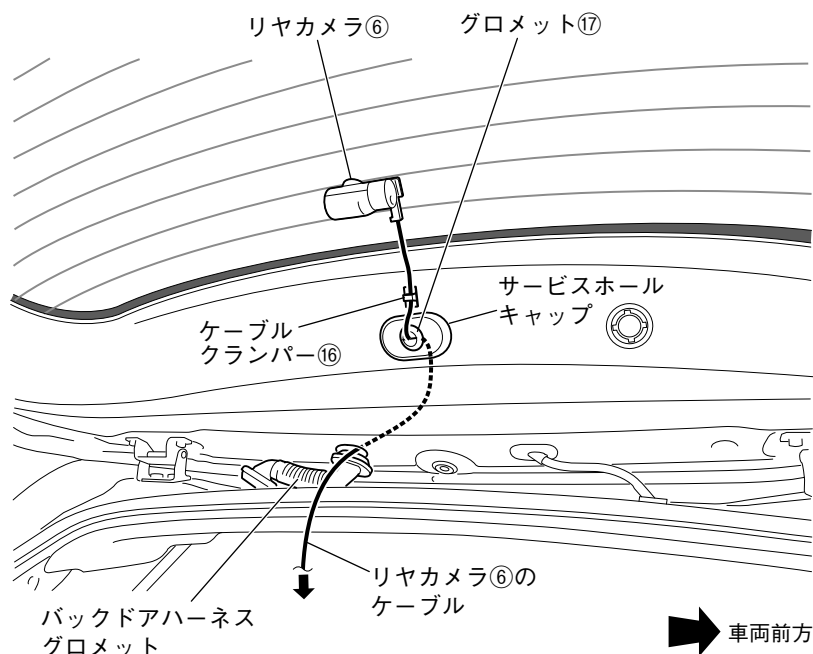
8. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）の余長を束ねて束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注 記

ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）はドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）と一緒に束ねたり、固定をしないでください。

d. リヤカメラのケーブル配線 フロント・リヤセット

<バックドア上部>



1. バックドアハーネスグロメットのかん合部をバックドア側および室内側から外します。
2. リヤカメラ⑥のケーブルをサービスホールからバックドア側の車両グロメット穴まで通します。

注記

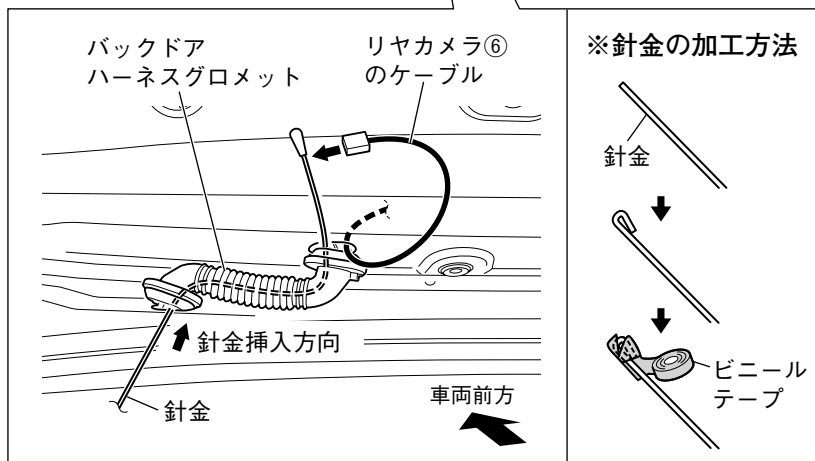
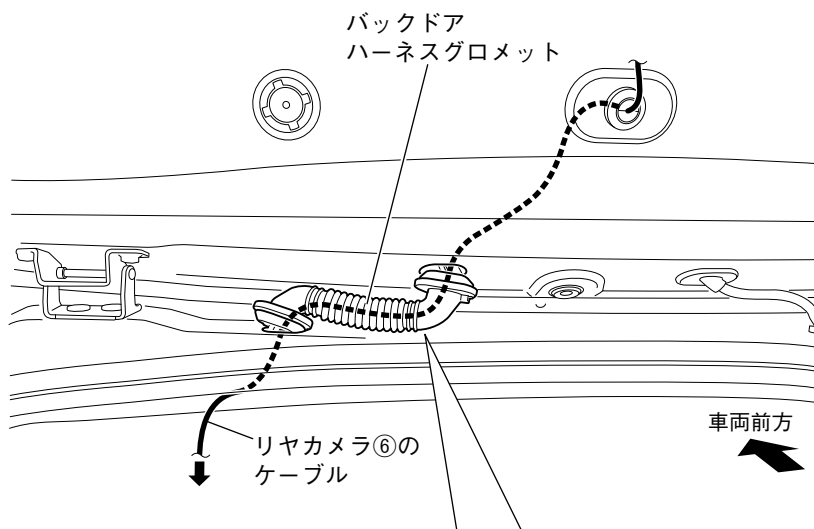
- ・ リヤカメラ⑥のケーブルがブラケット（リヤ）⑦の奥まで確実に押し込まれていることを確認してください。（共通編 21 ページ参照）
- ・ リヤカメラ⑥のケーブルは、配線作業中に引っ張ったりして、ブラケット（リヤ）⑦の奥から外れないようにしてください。

3. サービスホールキャップをサービスホールに取り付けます。
4. ケーブルクランパー⑬でリヤカメラ⑥のケーブルを固定します。

注記

- ・ ケーブルクランパー⑬貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- ・ 気温が低いとき（15℃以下）は、ケーブルクランパー⑬の貼付面をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。

<バックドアハーネスグロメット部>



- 針金を使用してバックドアハーネスグロメット内にリヤカメラ⑥のケーブルを通し、室内側まで配線します。

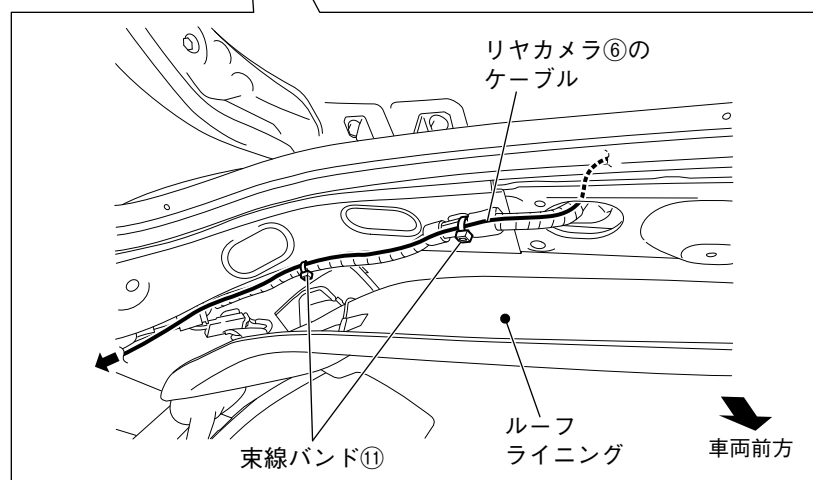
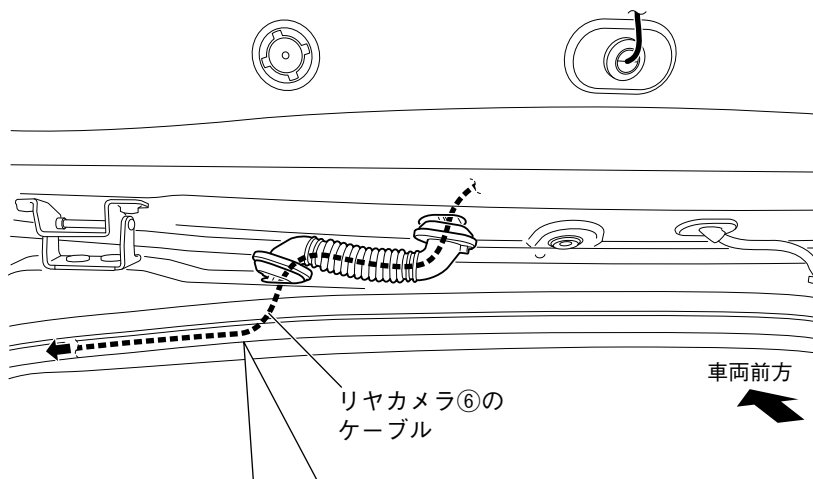
注記

- バックドアハーネスおよびリヤカメラ⑥のケーブル破損防止のため、無理に引っ張ったりしないでください。
- リヤカメラ⑥のケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクタや端子に中性洗剤等がかからないようにしっかりテーピングしてください。

アドバイス

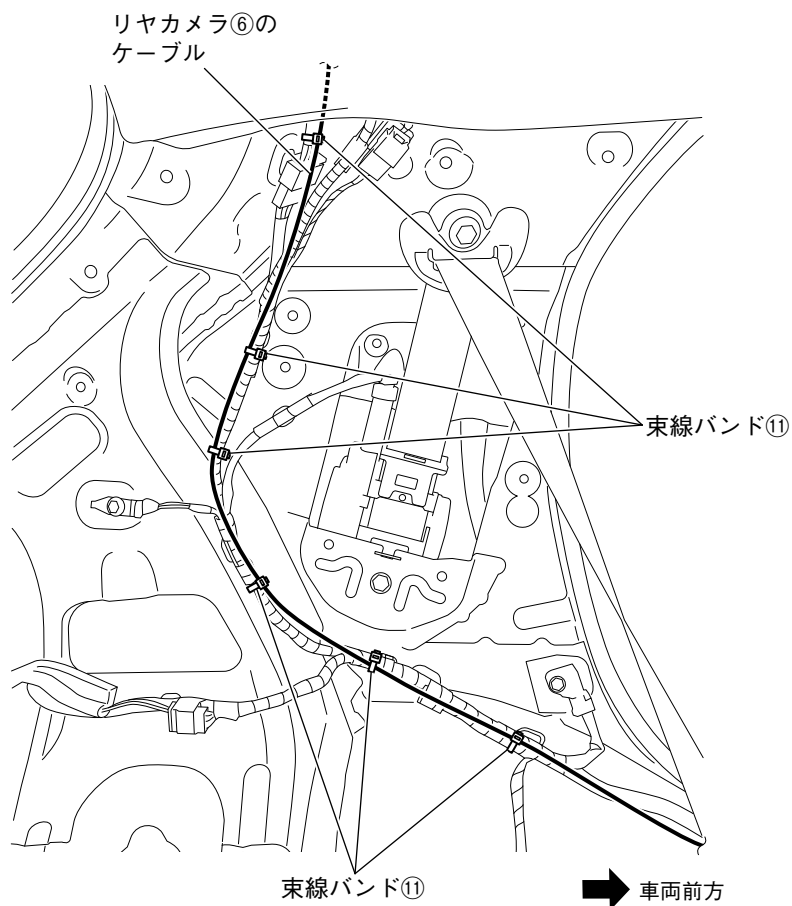
- 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- 折り曲げた側の針金をバックドアハーネスグロメットの室内側からバックドア側に通してください。
- リヤカメラ⑥のケーブルのコネクタを針金にしっかりテーピングしてください。

<バックドア開口部>



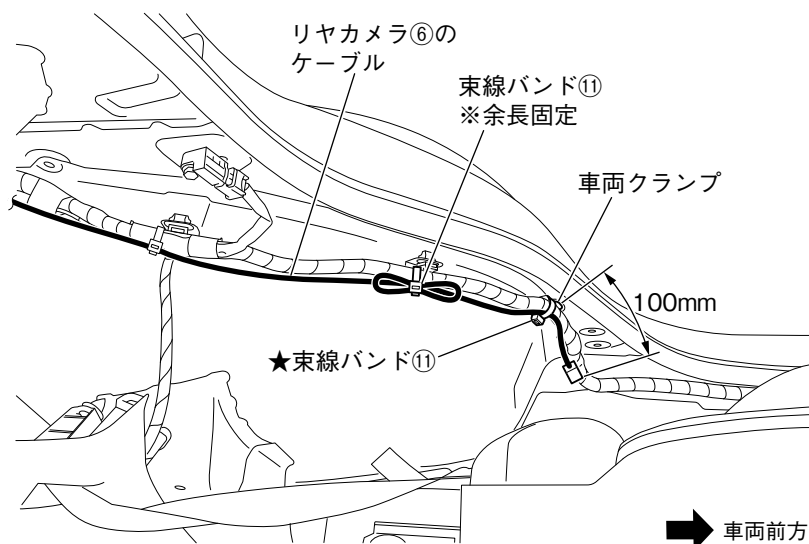
6. リヤカメラ⑥のケーブルをルーフライニングとルーフパネルの間に配線し、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

<左クォーターピラー上側>



7. 左クォーターピラー上側のリヤカメラ⑥のケーブルを束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

<左リアホイールハウス前側>



8. 左リアホイールハウス前側のリヤカメラ⑥のケーブルを束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注記

★部の束線バンド⑪は、リヤカメラ⑥のコネクター先端から車両クランプまでを図示寸法に合わせて固定してください。

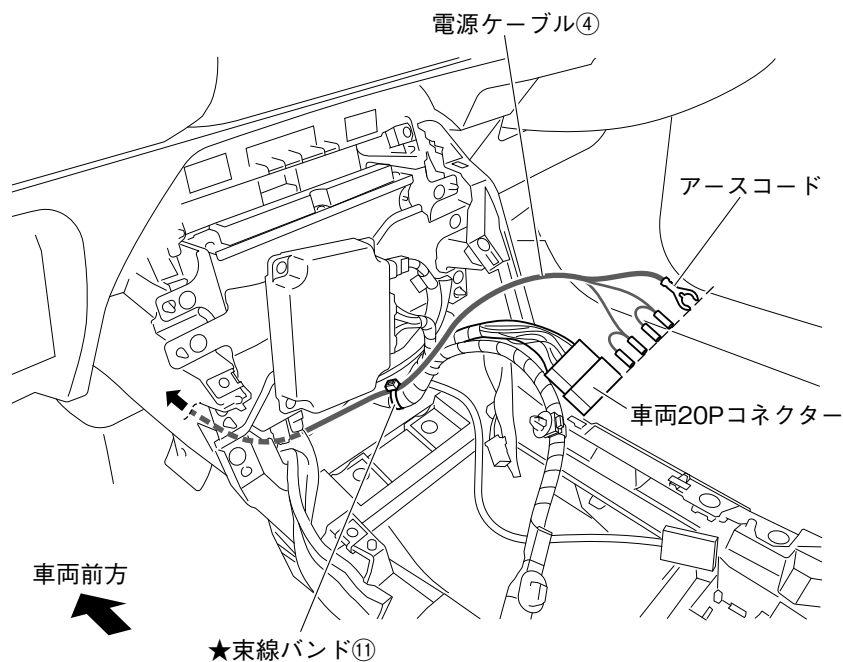
9. リヤカメラ⑥のケーブルの余長を束ねて束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

e. 電源ケーブルとリヤカメラケーブルの配線

フロント・リヤセット

フロントのみ

<コンソールボックス前側>

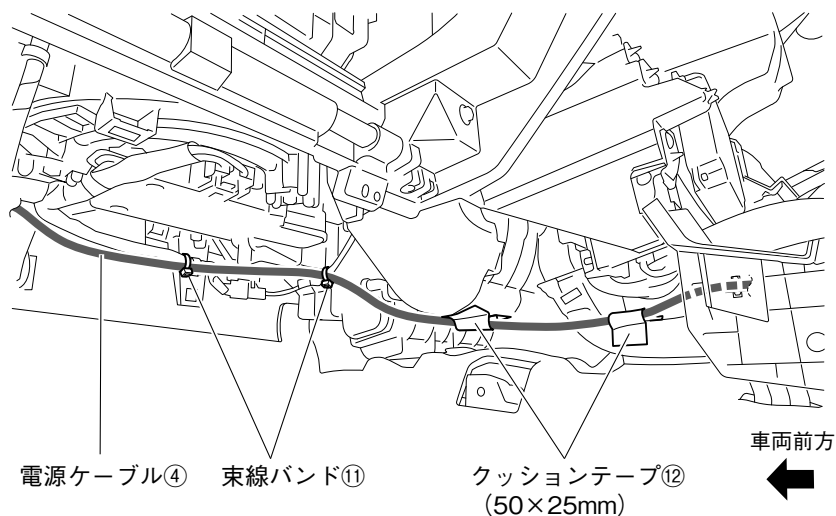


1. 電源ケーブル④を助手席足元左側まで配線します。
2. コンソールボックス前側の電源ケーブル④を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注記

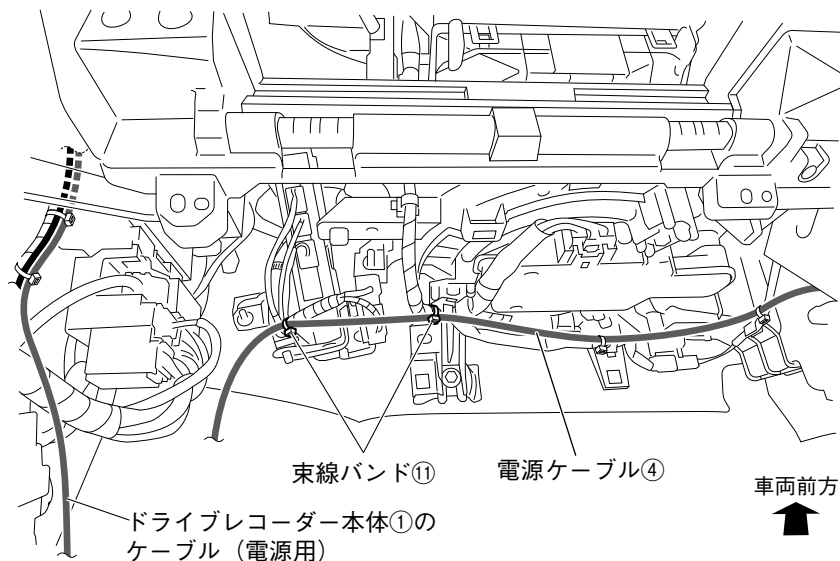
★部の束線バンド⑪は、電源ケーブル④のギボシ端子先端およびアースコード先端と車両 20P コネクタ先端をそろえて固定してください。

<助手席足元右側>



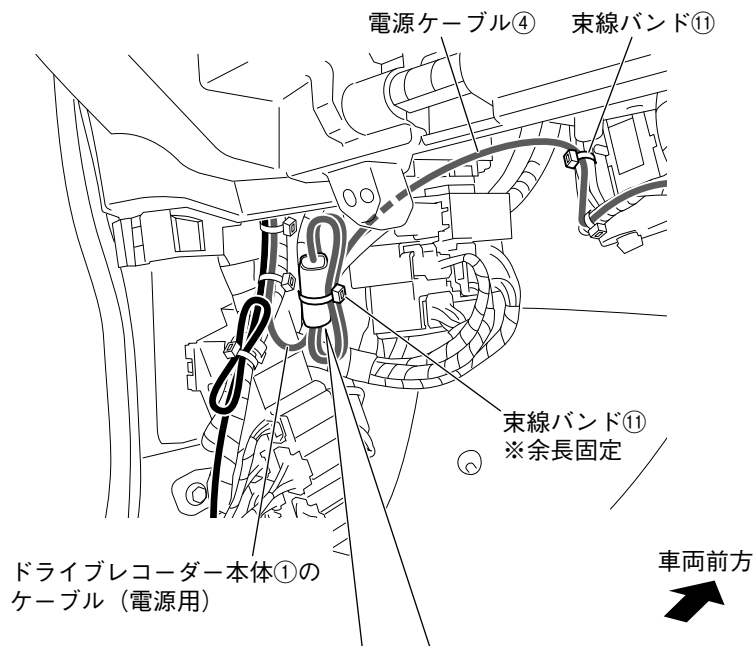
3. 電源ケーブル④をクッションテープ⑫で車両部品に固定します。
4. 電源ケーブル④を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

<グローブボックス取付部下側>



5. 電源ケーブル④を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

<助手席足元左側>



6. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④を接続します。
7. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
8. 電源ケーブル④を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。
9. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④の余長を束ね、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

注 記

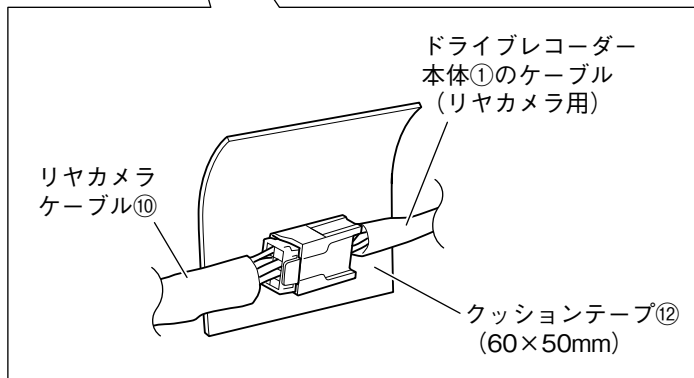
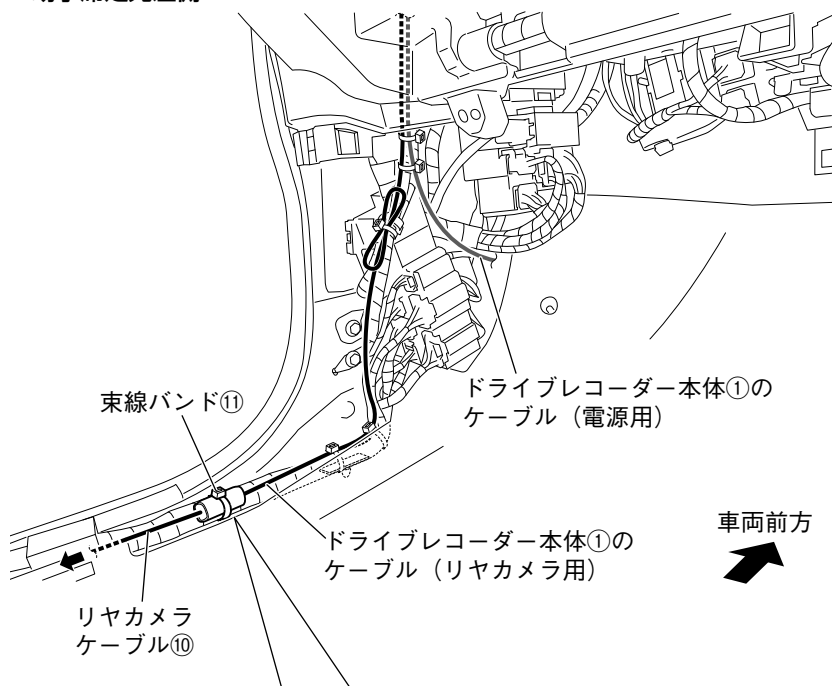
- ・ ケーブルの余長はダッシュサイドトリム（LH）を復元した際に干渉しないように固定してください。
- ・ ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④の余長は一緒に束ねて固定してください。

クッションテープ⑫
(60×50mm)

電源ケーブル④

ドライブレコーダー
本体①のケーブル
(電源用)

<助手席足元左側>



注 記

「フロントのみ」の場合は、ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）とリヤカメラケーブル⑩の配線作業はありません。

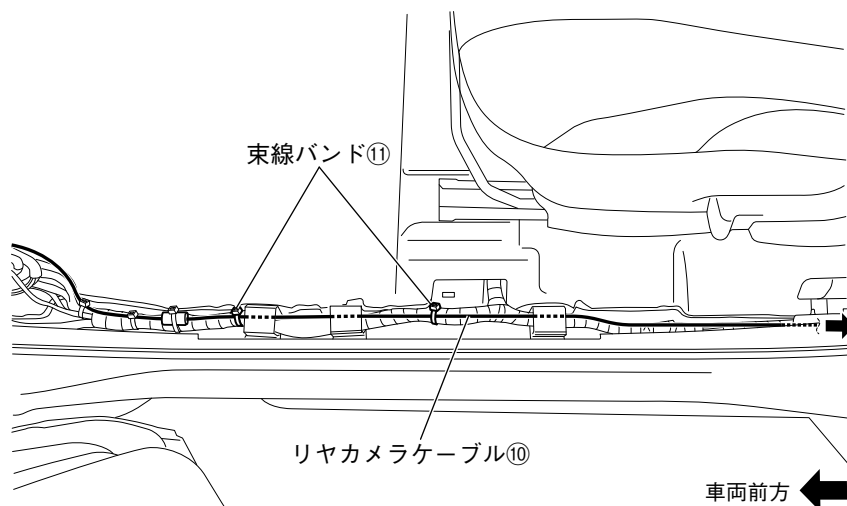
10. リヤカメラケーブル⑩をドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）に接続します。
11. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
12. 助手席足元左側のリヤカメラケーブル⑩を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

13. リヤカメラケーブル⑩を左リヤホイールハウス前側まで配線します。
14. リヤカメラケーブル⑩をリヤカメラ⑥のケーブルに接続します。
15. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
16. リヤカメラケーブル⑩を束線バンド⑪で固定します。
17. リヤカメラケーブル⑩の余長を束ね、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

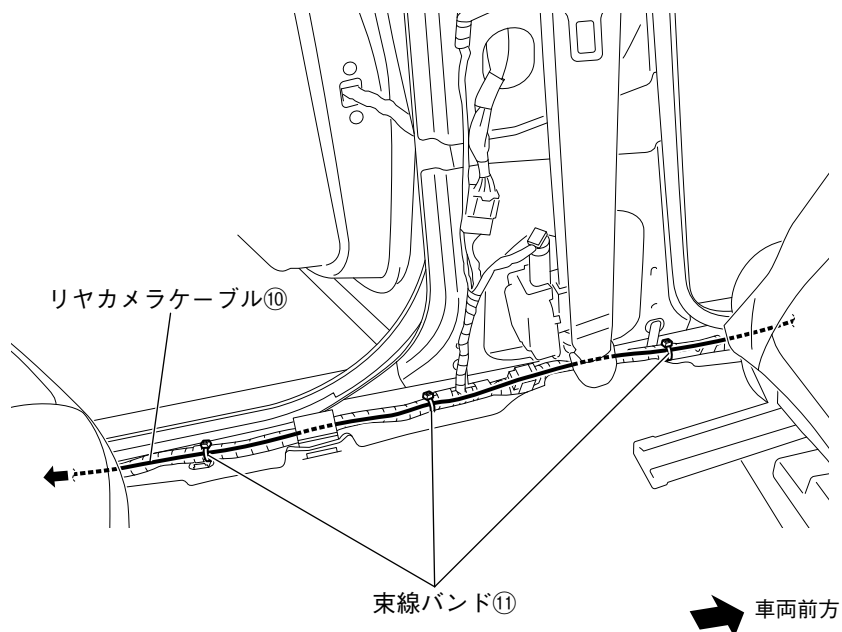
注 記

ケーブルの余長はクォーターロアトリム（LH）を復元した際にかみ込まないように固定してください。

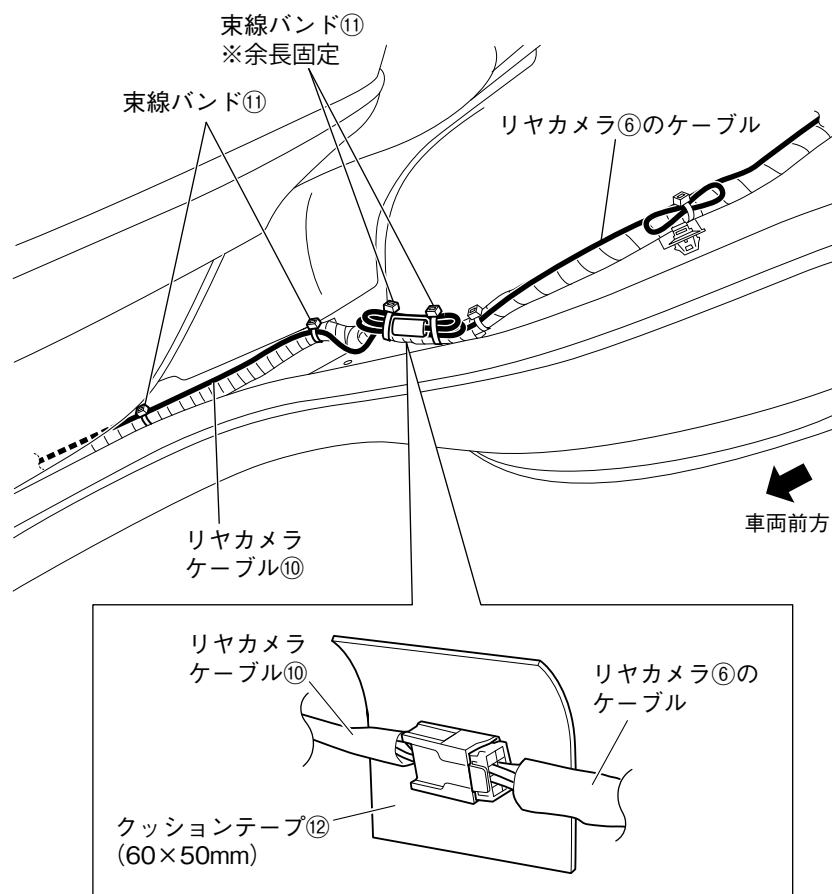
<左フロントドア開口部>



<左センターピラー部>



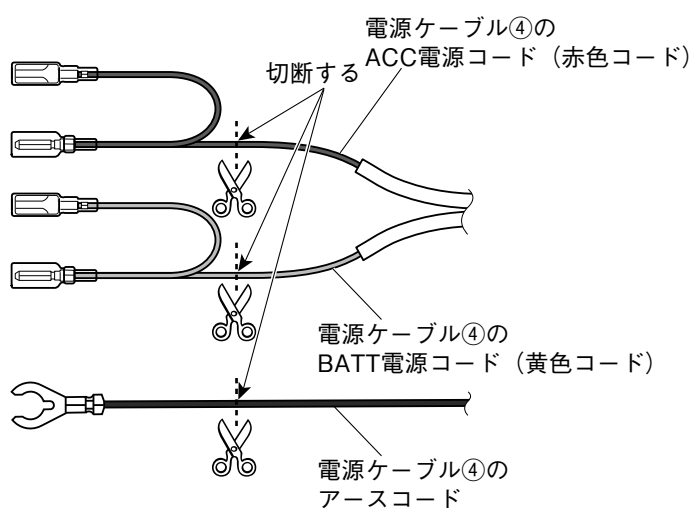
<左リヤホイールハウス前側>



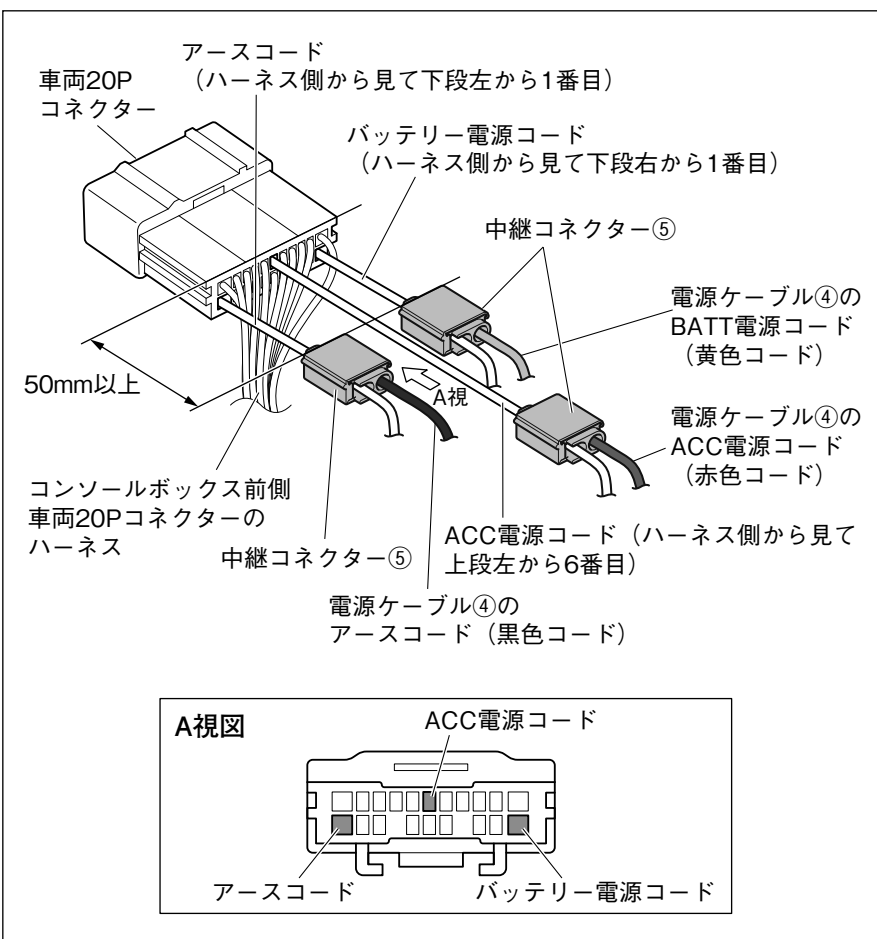
f. 電源コードの ACC 電源、バッテリー電源およびアースコードの接続

フロント・リヤセット

フロントのみ



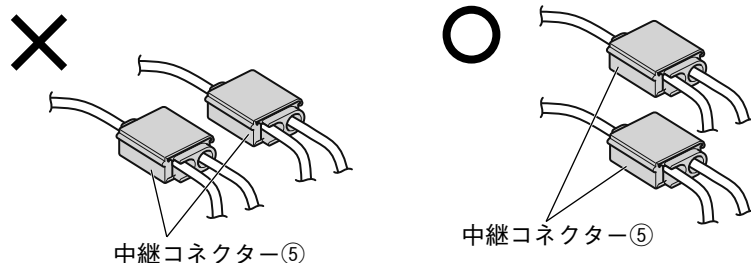
1. 電源ケーブル④の BATT 電源コード (黄色コード) および ACC 電源コード (赤色コード) 先端のギボシ端子部を切断します。
2. 電源ケーブル④のアースコード先端のくわ型端子部を切断します。



3. 中継コネクタ⑤を接続するコンソールボックス前側車両 20P コネクタのハーネスの保護テープを適量カットします。
4. 車両 20P コネクタ (白色) のバッテリー電源コードに電源ケーブル④の BATT 電源コード (黄色コード) を中継コネクタ⑤で接続します。
5. 車両 20P コネクタ (白色) の ACC 電源コードに電源ケーブル④の ACC 電源コード (赤色コード) を中継コネクタ⑤で接続します。
6. 車両 20P コネクタ (白色) のアースコードに電源ケーブル④のアースコード (黒色コード) を中継コネクタ⑤で接続します。
7. 中継コネクタ⑤接続後、異音防止のためクッションテープ⑫ (60 × 30mm) を中継コネクタ部に巻き付けてください。

👉 アドバイス

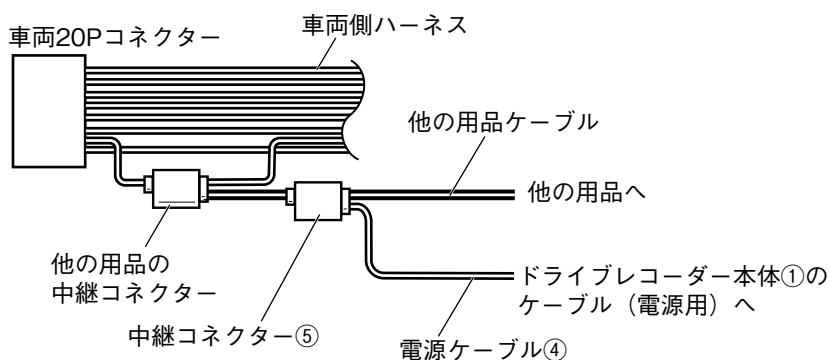
- ・ 電源ケーブル④の接続は、共通編の「結線図」を参照して接続してください。
- ・ 中継コネクタ⑤の接続方法は、共通編の「中継コネクタの使用方法」を参照してください。

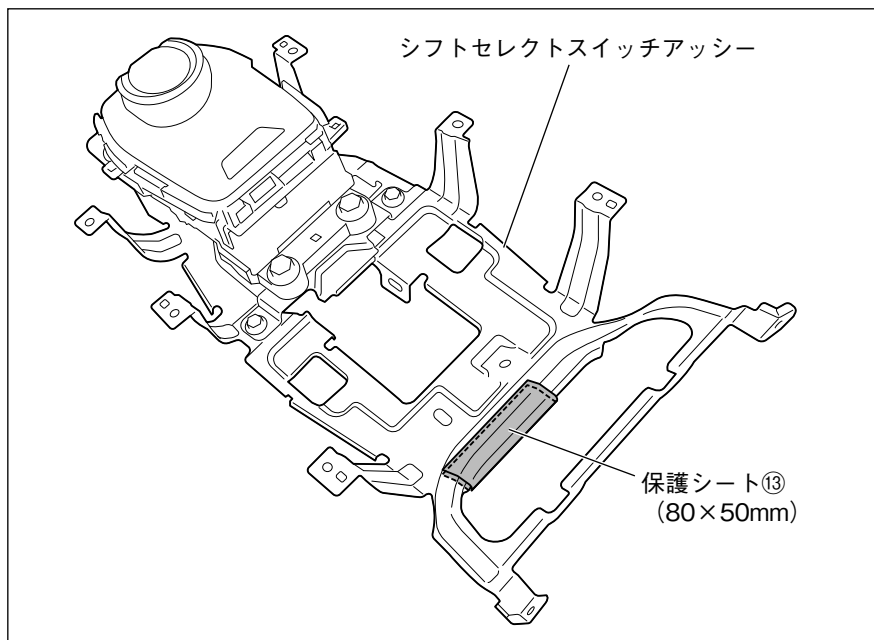


注 記

- ・ 中継コネクタ⑤を接続する場所を間違えないように確認してください。
- ・ 中継コネクタ⑤は、コネクタの端から 50mm 以上離れた位置へ接続してください。
- ・ 中継コネクタ⑤は、2 個がとなり合わせとならないように位置をずらして取り付けてください。
- ・ 車両側ハーネスのコード 1 本につき、接続する中継コネクタは 1 個としてください。
- ・ 同じコードに接続する用品がある場合は、先に車両ハーネスに接続したケーブルから分岐させてください。

※同時取付用品がある場合





8. シフトセレクトスイッチアッシーの図示位置に保護シート⑬を貼り付けてください。

5. 車両部品の復元

取り外しと逆の手順で取り付けます。

- ・ 車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)
- ・ 取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。
- ・ オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。
- ネジの締め付けトルクが規定されている場合は、規定のトルクで締め付けてください。